

# 30日、府立知的障がい支援学校の教育環境充実について、知事ヒアリングおこなわれる

## 府教委「平成25年度までに府内4地域で、新校の整備に着手」明記

### しかし、「財政状況に鑑み平成21年度は豊能・三島地区の整備に着手」

### 「新校が整備までの間、仮設校舎等で対応」

#### 1 知事復活予算要求の概要

1月30日、府教委は「府立知的障がい支援学校の教育環境の充実」に関して、府知事と復活予算に関してヒアリングをおこないました。知事復活要求について府教委は、「平成25年度までに府内4地域で、新校の整備に着手」を明記していますが、当初要求していた3地域3校の新設校予算要求は、豊能・三島地域のみとなっています。

府教委の知事復活要求ヒアリングの資料によれば、府域全体を見渡し、「支援学校」および「たまがわタイプ高等支援学校」を新たに整備するとし、「平成25年度までに府内4地域で、新校の整備に着手する」としています。そして、次の4点を方針としてかかっています。

#### 2 復活要求の予算額など

##### (1) 府立知的障がい

##### 支援学校新校整備事業

・豊能・三島地域  
新校整備費 21,502千円

##### (2) 府立支援学校教育環境整備事業

355,043千円(58,257千円増)

\*増は当初予算要求より

##### 内訳

教室用備品等購入費 85,461千円

特別教室等改修関係消耗品 (1,545千円増)

8力所

・普通教室改修等関係消耗品

68教室(6教室減)

・厨房関係消耗品

4力所(1力所増)

教室改修等関係備品110,280千円

(33,651千円増)

・厨房関係設備品

3力所(1力所増)

・厨房関係消耗品

3力所(1力所増)

教室改修等工事費 143,218千円

(26,008千円増)

・特別教室改修等工事費

8力所

・厨房改修等工事費

3力所(1力所増)

・普通教室改修等工事費

3力所(1力所増)

・仮設校舎移設工事費 等

なお、府立支援学校教育環境整備事業には

次の予算が含まれています。

豊能・三島地域  
仮設校舎整備 75,758千円

#### 3 予算要求変更に関する

##### 支援教育課課長の府障教への説明

支援教育課課長は、府障教との本部交渉において、予算要求している3地域3校の新校整備費について「最後(知事復活要求)までいく決意」と答弁していました。しかし、今回の復活要求はその答弁の修正をおこなったものです。これについて、29日、支援教育課課長自身が復活要求の考え方について、府障教に対して次のように説明をおこないました。

本部交渉当時は、3地域3校の整備について、最後までいくつもりであった。しかし、総務部長復活で「ゼロ内示」となり、厳しい財政状況を踏まえ、3地域同時に新校整備費を要求することは困難と判断した。豊能・三島地域については、新校整備費予算を要求し、新校が整備できるまでの間、仮設校舎を整備する。

泉北・泉南地域については、新校が整備されるまでの間、仮設校舎を整備する。新校の建設工期短縮などをおこない、当初予定していた開校時期を1年早めたい。

北河内地域については、新校を整備するための用地交換費用を予算要求している。新校が整備されるまでの間、仮校舎を整備したい。

中河内・南河内地域については、平成22年度以降25年度までに新校整備に着手する。新校が整備されるまでの間、仮校舎を整備する。

小・中・高等部併設の支援学校の新設が4地域が必要であるという認識は変わらない。

#### 4 今後について

31日、緊急の大阪の障害児教育をよくする会運営委員会を開催し、知事復活要求の内容に関する評価と、今後の対応について協議をしました。大阪の障害児教育をよくする会運営委員会としては、府教委が今回、新たに中・南河内地域に新校建設を明記したこと、府内4地域の新設校整備を堅持したことを受け止め、今回の復活予算要求を本格予算案にもり込ませることを当面の課題と確認しました。緊急に府議会各会派への要請を強めたいと思います。

各分会では、府教委の知事復活要求についての意見を府障教本部に集中してくだされい。